



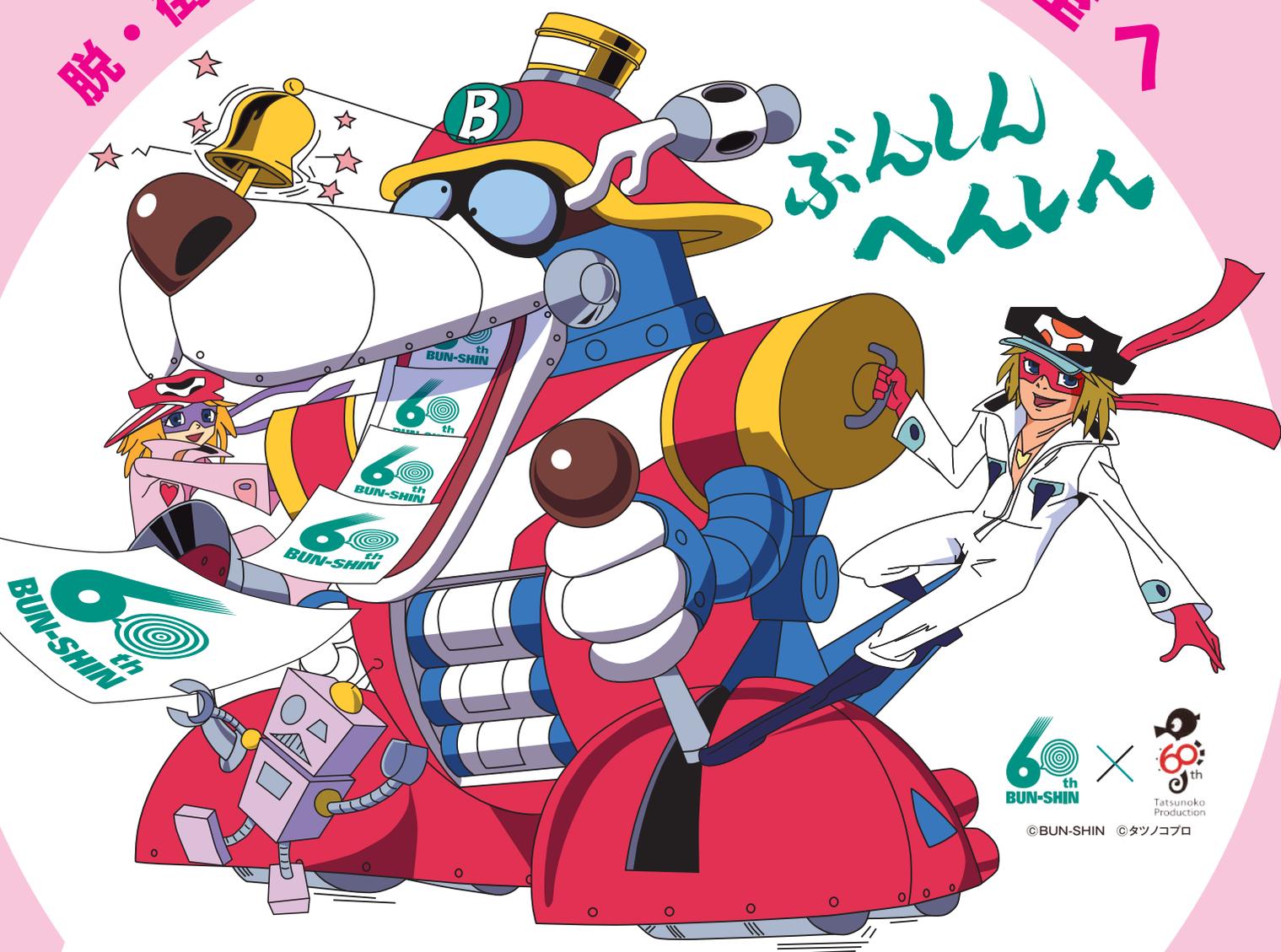
を発信するサステナブルマガジン

グラフ文伸+

Vol.15 SPRING
2023
GRAPH BUN-SHIN Plus

脱・街の印刷屋から 超・街の印刷屋 7

ぶんしん
へんしん



＼新連載スタート！/
キン・シオタニの
この商店街に行ってみよう

＼特集/
超・街の印刷屋を目指して

＼中央線沿線最前線 /
多くの文筆家たちに愛される中央線文化の集積 ほか

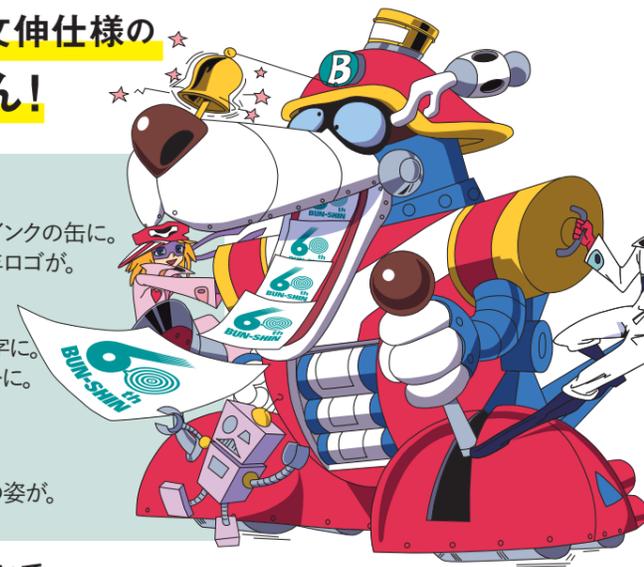
＼NEWS&TOPICS /
わくわく仕事アワード2023春
文伸10大ニュース ほか

60th
BUN-SHIN
×
60th
Tatsunoko
Production
©BUN-SHIN ©タツノコプロ

超・街の印刷屋を目指して

へんしんするって何だろう？

創業60周年の節目を越えた今、さらなる飛躍を目標に、文伸は社員一丸となつてさまざまな取り組みを進めています。テーマは「超・街の印刷屋」——。街の印刷屋としての精神はそのまま、超・街の印刷屋へ変身します！



タツノコプロとのコラボで実現した“ぶんしんへんしん”のキービジュアル

人気キャラのヤッターワンが文伸仕様のヤッターブンにへんしん！

▶ 体が印刷機に！

胸部は印刷機のローラー、頭のランプはインクの缶に。大きく開いた口からは刷り上がった60周年ロゴが。

▶ 頭のマークに注目！

通常は「Y」の部分が「BUN-SHIN」の頭文字に。さらに黒い部分は文伸のコーポレートカラーに。

▶ Factory8ロボの姿も！

足元(通常はオモッチャマの定位置)には、文伸のオリジナルキャラ Factory8 のロボの姿が。



コラボについて

今回のコラボは、株式会社タツノコプロと株式会社文伸が2022年に同じ地域でともに60周年を迎えたご縁によるもの。

街の印刷屋の精神はそのまま時代にあわせてパワーアップ

子どもの頃に誰もが一度は憧れた、アニメや映画の世界で活躍するヒーロー・ヒロインたち。多くのヒーロー・ヒロインたちの共通点は、その時「が来ると普段とは違う姿に変身し、さまざまな特殊能力を使って正義のために戦うところ。己の資質やポテンシャルを引き出すために「変身して戦う姿」に、皆がわくわくさせられたはず……。

文伸の現在のテーマは、そんな「へんしん」がキーワード。だからといって、ヒーロー・ヒロインたちのように劇的に姿形を変えようというワケではありません。これまでの経験をフルに活かし、創業以来の理念や大切にしてきた想いを実現し続けるため、パワーアップするのです。

文伸は街の小さな印刷屋としてスタートし、地域の皆さまに支えられながら2022年に創業60周年を迎えました。長い歴史の中、一貫してきたのが「人に伝える・人とつながる」というコミュニケーションのお手伝い。約10年前からは、印刷・加工だけでなく、企画提案から編集・執筆、取材・撮影、デザイン、流通までワンストップで手掛ける「総合的なコミュニケーションサポート業」を展開してきました。今や私たちは、街の小さな印刷屋ではありません。これまでも時代のニーズにあわせて、文伸は幾度となく「へんしん」を続けてきたのです。

そして今、祖業である街の印刷屋の精神はそのまま、「超・街の印刷屋」に「へんしん」しようとしています。

紙に印刷するだけじゃない！人の心に残すをお手伝い

昨今文伸が手がける多くの案件では、印刷物を作ることが目的ではなく、印刷や動画、その他の制作を通して「想いを伝えること」がまさに求められています。単に印刷会社としての技術だけではなく、企画力や取材力、編集・デザインのセンスやプロモーションのノウハウを評価いただくことが増えてきているのです。

もちろん、ユニークな企画を立てる企業、広告やプロモーションに長けている企業、大きなイベントを手掛ける企業は世の中にたくさんあります。しかし、それらを一貫し、印刷にも対応できる企業は多くはありません。文伸は印刷工場を自社で持ち、モノづくりの現場やアウトプットの部分までサポートする企業として、お客さまに寄り添ってきました。これからも、紙だけでなく「人の心に残る(刷り込む)インプリントする」仕事を続けていく、それが文伸が考える「超・印刷屋」の姿です。

そのためには、スタッフ一人ひとりもスキルアップする必要があります。お客さまの課題を解決するための企画力や編集・デザイン力を磨き、周年支援事業に一層注力し、ファクトリーを中心に、地域ナンバーワンの環境配慮への取り組みを進めていく。そうすることで自分たちだけでなく、お客さまの「へんしん」もサポートできると考えています。

私たち文伸のへんしんは、ヒーロー・ヒロインたちのようなカッコイイものではないかもしれませんが、「超・街の印刷屋」として誰かの役に立てることがきっとある。そう信じて「ぶんしん、へんしんっ！」(決めポーズ)

PICK UP

最新のAI技術でモノクロもカラーにへんしん

文伸は企業・団体の周年誌や、街の今昔写真集などを制作することが多く、日頃から昔の貴重な写真を頻繁に扱っています。歴史を感じる貴重な写真は味があつて良いのですが、モノクロは、カラーと比べてどうしてもリアリティに欠ける印象も。そんなときは、AI技術を使ってカンタンに、モノクロ写真をカラーに変換するサービスが重宝します。お手元に昔のモノクロ写真が眠っている方は、試してみてください！



文伸が三鷹仲町通りにあった1970年頃の写真。手前に写っているのは、若い頃の川井信良会長



このカワイコちゃんたちは、川井社長と総務部・益子主任(実姉)！ 今からウン十年前の写真

① シビックプライドの醸成

こんな風に変身したい！ 文伸ドリーム

“超・街の印刷屋”として私たちが描く、未来図の一部を紹介します。

創業60周年記念式典で
プレゼンした内容を
おもしろい！



川井社長も周年ロゴメガネをかけて変身

文伸のホームグラウンドと言えば、三鷹市と武蔵野市。どちらも魅力あるエリアですが、両市がコラボすればさらに面白くなるはず！ 地元の人たちも巻き込んで、皆で最高のまちづくりができるといいな。

例えば…… 三鷹市・武蔵野市 共同プロモーション



両市のイニシャル「M」を使ったロゴマークを作ってみるのも良いかも！



井の頭公園でゲーム感覚の清掃イベントを実施するアイデアも！

② 地域資源の活用と共有

例えば…… 三鷹・武蔵野の魅力 再発見&発信する



地域農産物のパッケージや街路灯のフラッグを、オシャレなデザインでブランディングしてみたい！

街ランキングで常に高評価の三鷹市と武蔵野市。すでに人気の街ですが、地元民しか知らない魅力や名物がまだまだあるのでは？ 文伸の企画やデザイン、プロモーションの力で、ポテンシャルを引き出したい！

③ 地域の情報が集まるハブへ

例えば…… クリエイターや市民が集う 情報発信基地になる

実はこれに関しては、少しずつ種時きを進めています。地域の取引先の皆さまや地元のクリエイター、市民からの情報が集まるハブとして、文伸が地域の情報発信基地となれるような仕組みを構想中です。



地域の子どもたちや一般の方が参加する、印刷工場見学ツアーも歓迎



地元クリエイターのネットワークを活かしたイベントを定期的実施

多くの文筆家たちに愛される 中央線文化の集積



中央線沿線を舞台に書かれた作品も多い(写真はイメージ)

中央線が走る武蔵野・多摩エリアの
注目＆最新情報をお届けします！

関連情報

三鷹ゆかりの作家の 作品と生涯を紹介する施設

小説『路傍の石』などで知られる作家の山本有三が1936年(昭和11年)から1946年(昭和21年)まで家族と暮らしていた家が、現在は三鷹市の文化財に指定され一般公開されています。
建物は大正末期に建てられた本格的な洋風建築で、敷地内は四季の花や緑が見られます。落ち着いた雰囲気の中、時を忘れてのんびりと過ごすことができます。



三鷹名誉市民でもある山本有三は、この館で数々の名作を書いた

三鷹市山本有三記念館

【住 所】三鷹市下連雀2-12-27
【電 話】0422-42-6233
【開館時間】午前9時30分～午後5時
【休館日】月曜日、年末年始 ※ただし、月曜日が休日の場合は開館し、その翌日と翌々日休館
【入館料】300円(20名以上の団体200円)／年間パスポート料1000円
※年間パスポートの有効期限は、交付日から1年間。同記念館の窓口にて購入可能。
※中学生以下、障害者手帳を持参の方とその介助者、校外学習の高校生以下と引率教諭は無料。

JR中央線沿線には戦前より多くの文筆者が居住し、珠玉の作品を発表し続けて来ました。活気ある街には、今でも文豪たちのエネルギーが色鮮やかに残っているようにも思えます。しかしなぜ中央線沿線は、かくも多くの文筆者に愛されたのでしょうか。その理由のひとつは、このエリアの強固な地盤が関係しているようです。

今からちょうど100年前の1923年(大正12年)9月1日、関東大震災が発生しました。その被害は首都圏全域におよび、死者10万5千人、家屋被害37万2千余軒となりました。しかし武蔵野台地を走る中央線沿線の被害は少なく、例えば武蔵野村の被害状況は、倒壊家屋は境2軒、吉祥寺1軒と軽微でした。そのため被災者を中心に、安全で鉄道が通る中央線沿線への移転が急増し

ました。武蔵野村では震災前の大正11年の人口5千200余人が、5年後の昭和2年には1万1千500余人となっていました。

同じように中央線の荻窪には、井伏鱒二や与謝野鉄幹・晶子などの文筆者も住まいを移しています。そのような流れの中で、井伏鱒二を中心にした「阿佐ヶ谷会」と呼ばれる文士の集まりもできました。三鷹が終の棲家となった太宰治もそのひとりでした。戦後も有吉佐和子や開高健、松本清張、向田邦子などが杉並エリアを中心に住み、最近ではノーベル文学賞候補といわれている村上春樹や多和田葉子なども国分寺・国立に縁があり、震災以降様々な文筆者が中央線沿線文化を集積していったと言っても過言ではないようです。

(会長 川井信良)

ぶんしん出版の新刊!!

2023年5月1日発売

三鷹では現在、吉村昭の書斎の移築が進んでいます。「三鷹市山本有三記念館」「太宰治文学サロン」に次ぐ、三鷹ゆかりの文学者を顕彰する施設となります。そのひとつ、三鷹市山本有三記念館の元館長の矢野勝巳さん著作の『文学する中央線沿線 小説に描かれたまちを歩く』が、5月1日にぶんしん出版から発売されます。

【文学する中央線沿線～小説に描かれたまちを歩く～】
四六判224ページ 定価1,870円(税込)

新宿以西のJR中央線沿線を描いた50名の作家の作品を紹介しています。その中で22名の現代作家の作品については地域の視点から深掘りし、村上春樹や多和田葉子などの6人の作家については個別にテーマを定めて解説しています。作品の新たな魅力を見つけるとともに沿線のまち歩きをさらに楽しくしてくれます。

【お問い合わせ先】
☎:0422-60-2211(ぶんしん出版)
✉:hon@bun-shin.co.jp

新連載 スタート!

日頃から「商店街」をテーマとしたメディア連載やYouTube番組、トークショーなども行っている「キンシオ」さんによる、描き下ろし連載!

キン・シオタニ
東京生まれ。イラストレーター、文筆家。現在、様々なメディアでイラストを発表するほか、作品集の出版、メディア出演、パフォーマンスやトークイベントの出演や企画を行なっている。



**おしゃべり好きなふたりの社長による
ホンネ・ネットワーキング番組!**

突然ですが、皆さん、弊社社長・川井伸夫をご存知でしょうか? 好奇心旺盛で人と出会うことが大好き、わくわくすること「を常に追い求め、地域のために日々奮闘中。2021年新社長就任後は、さまざまな企画でそのありあまる情熱を放出。社員の幸せを願うあまり、ときには煙たがられながらも、有言実行で挑戦を続ける――。

そんな川井社長が「会社づくり」「まちづくり」のヒントを探るべくスタートさせたのが、オーディオ業界を技術でリードするアツデン株式会社との周年連携企画「月刊ミタカ会議」です。

2022年にアツデン70周年、文伸60周年というご縁もあり、代表同士意気投合。互いの好奇心をくすぐる人物をゲストに招き、まちづくり・地域情報をメインテーマとした鼎談番組を生配信することになったのです。

毎回、アツデンの映像撮影スタジオ『Studio MITAKA-BASE』(文伸から徒歩30秒)にて収録・生配信し、専用チャンネルにアーカイブ。駅長、元市長、小説家、スポーツ選手……など、その時々ゲストならではの切り口で展開するトークは必聴です! 現在、第12回まで公開中。次回以降もお見逃しなく。

各業界で活躍する地域のリーダーたちを川井社長が訪ねる連載「わくわく対談」の番外編。YouTubeでの生配信が続く「月刊ミタカ会議」の見どころを紹介します!

YouTube では過去回のアーカイブ!

【これまでのゲスト一覧】

第1回	保田暢彦 様	(JR 東日本 八王子支社 三鷹駅 駅長)
第2回	土屋正忠 様	(元武蔵野市長/元衆議院議員)
第3回	清原慶子 様	(杏林大学客員教授/ルーテル学院大学客員教授/前三鷹市長)
第4回	是枝嗣人 様	(クローバーグループ代表)
第5回	田中雅文 様	(武蔵野の森を育てる会 代表/日本女子大学 人間社会学部 教育学科 教授)
第6回	大澤康男 様	(フォトサークルジャパン 代表取締役 CEO)
第7回	塩谷朋之 様	(顔ハメ看板ニスト)
第8回	伊藤羊一 様	(武蔵野大学アントレプレナーシップ学部 学部長/ Z ホールディングス Z アカデミア学長)
第9回	赤神諒 様	(小説家/法律家)
第10回	下田大気 様	(武蔵野市議会議員/タクシードライバー)
第11回	南早紀 様	(横河武蔵野 Artemi-Stars /ラグビー女子日本代表)
第12回	小笠原恵助 様	(OGA BREWING 代表取締役社長)

番組のホスト役、アツデン代表取締役社長・佐藤基典氏(写真左)と弊社川井伸夫社長(左)

番組収録の様子。写真は、伊藤羊一様をゲストに招いた第8回のもの

2023 春

わくわく 文伸 10 仕事アワード 大ニュース

【ランキングの付け方】
本誌編集が、それぞれの仕事の「わくわく指数」を算出！
「わくわく指数」は次の4項目（★3段階評価）の合計としました。

- ・文伸らしさ ★★★★★
- ・注目度 ★★★★★
- ・新しさ ★★★★★
- ・地域貢献度 ★★★★★

文伸の仕事内容やできごとを「わくわく指数」によるランキング形式で紹介する本企画。
2022年ランキング1位は、なんといっても創業60周年事業に決まり！



2022年8月1日
創業60周年を迎えました！
周年事業の4本柱は「祝賀会」「周年誌」「記念旅行」「動画制作」。全社挙げて周年イヤーを盛り上げました。11月26日(土)には記念式典と祝賀会を挙げて、文伸を支えていただいている方々に感謝の思いを伝えました。



2022年11月26日(土) 吉祥寺エクセルホテル東急にて 記念式典&祝賀会を挙げる！



島支援事業でご縁ができた「伊豆大島」へ2泊3日の記念旅行



7月には総務部企画「長編とび本気の60回チャレンジ」を実施



包装にもこだわった記念品。オリジナルクラフトビール「へんしんエール」が好評！



記念動画には創業者・故 川井捷一郎氏のメッセージも収録



地域・業界関係者にご臨席いただいた記念式典の様子



さらに！ 今夏の完成を目指し、創業60周年記念誌を鋭意制作中！



うれしいご縁がまたひとつ！
キンシオさんとのコラボ企画
日めくりカレンダーを制作したご縁から、文伸の定番アイテム「エコメモカレンダー」2023年版はキンシオさんとのコラボバージョンに！



吉祥寺を拠点に活躍するイラストレーター、キンシオタニさん。創業60周年の祝賀会ではライブペインティングのパフォーマンスを披露いただきました！



GP印刷やFSC® 森林認証紙：ますます環境配慮の印刷へ！



責任ある森林管理のマーク
FSC® C178085



- ※1) グリーンプリンティング(GP)認定とは、環境に配慮した印刷の総合的な認定制度。そのGPに対する深い理解と積極的な活用が評価されました。
- ※2) FSC® 認定とは、適切に管理された森林と、責任もって調達された林産物に対する国際的な認定制度です。

4位

21人のクリエイター&学生とのコラボ！
『21の文人展』も開催
「文」をテーマに各々制作した冊子(ZINE)を、武蔵野プレイスで展示！



5位

ぶんしん出版の人気作家
新装版で登場！
『井の頭公園100年写真集 ハンディー版』と『井の頭公園いきもの図鑑改訂版』



6位

東京諸島アンテナショップ
(主催 東京都商工会連合会の運営が
厚生労働大臣賞受賞！
その企画内容と印刷物が評価され、『令和3年度
ジャクラ作品展』※にて受賞しました。



7位

3年ぶりに職場体験が復活！
7校から中学生が来社
近隣の中学生たちが、文伸の仕事を一生涯命お手伝いしてくれました。



8位 同率

『三鷹市民駅伝』参加
営業スタッフ4名が参戦。
結果は115位(125
チーム中)でした！



ほかにも「吉コレ」や「みたか商工まつり」、「のきさキオスク」など地域のイベントに参加！



10位

新スタッフが入社します
ますますパワーアップ！
営業部とデザ
イン課に頼も
しい仲間が加
わりました！



職場体験に来ませんか？

大学生インターンや
中学生の職場体験を随時受け付けています。
プログラム学習など
教育機関の方のご相談も承ります。



総務・経理部
川井 尚子 主任

工場見学に来ませんか？

製版、印刷、加工まで書籍や
印刷物づくりの流れをご説明します。
学校・企業、地域グループの方も
大歓迎です！



Factory
古賀 賢 課長

この場を借りて...
案内 いた
ですか？



各担当からひと言ご案内。気になる方は
文伸にお気軽に問い合わせください！

問合せ先
☎ 0422-60-2211
✉ office@bun-shin.co.jp

自分の本をつくりませんか？

編集、デザイン、印刷・製本まで、
思いに合った魅力的な本づくりを
「丁寧・良質・リーズナブル」
に行います。



出版事業部
稲富 能恵 主任

周年を迎える皆さまへ

周年ロゴ、記念誌、
映像、特設ウェブの制作や、
式典の企画・運営など周年事業を
トータルでサポートします！



周年事業室
武藤 毅 室長

動画制作もお任せください！

私たちが得意とするのは
紙媒体の制作だけではなく、
動画やウェブサイトの制作も
多数の実績があります。



クロスメディア課
大嶋 徹

break time ブレイクタイム

皆さんにもっと私たちのことを知ってもらいたい！
...というワケで、文伸にまつわるクイズとコラムをお楽しみください！



解けばあなたも文伸ツウ？
懸賞付き“へんしん”探し

営業部全員集合！2枚の写真には明らかに違うところが10カ所あります。
10名それぞれどこが“へんしん”しているでしょう？ ※若干の違いはご愛嬌！

before



after



＼ 私たちは文伸営業部です！顔と名前をぜひ覚えてください！ /

後列：左から、三浦玄紀（主任） 有馬靖了（部長） 深堀由之
中列：左から、飯山美子 権田恵美 藤本侑希（シニアマネージャー） 増田斉
前列：左から、鎌田孝之 武藤毅（統括マネージャー） 川井林太郎（主任）

正解者全員にオリジナルメモ帳をプレゼント！



Googleフォームで
ご解答＆ご応募いただけます
←スマホで読み取ってください

※メールかハガキでもご応募いただけます。
【メール宛】 hon@bun-shin.co.jp
【ハガキ宛先】〒181-0012 東京都三鷹市上連雀 1-12-17
株式会社文伸 「グラフ文伸+ 懸賞」係
★応募の際はご自身のご連絡先の記載を忘れずをお願いします★

応募〆切
2023年7月31日まで
※消印有効



正解はウェブ&SNSでチェック！



【個人情報の利用目的について】
文伸は個人情報保護に関する認証「プライバシーマーク」を取得し、社内委員会による継続的な啓発・管理体制を構築しています。ご記入いただいた個人情報は以下の目的にのみ利用し、本人の同意なく第三者に提供いたしません。▶ご回答・ご応募いただいた皆さまに、プレゼントを発送するため。▶プレゼントが返送された場合などに業務上の連絡を取るため。



GREEN PRINTING JMI
F-D10010
本工場は、環境に配慮したCO2削減工場です。



161900671071



ミックス紙
FSC® C178088

印刷工場で活躍する機械のおはなし



文伸の印刷工場で働くスタッフたち。その丁寧で正確な仕事ぶりを称え、ロボットにデフォルメしています！

Vol.2
POD機

PODとは「Print on Demand」の略。物理的な版を作らずデジタルデータを直接プリンターから出力するため、インシャルコストが低く抑えられるのが特徴で、まさに「要求に応じて必要な部数に必要な分だけ」(＝オン・デマンド)印刷したいときにおすすです。イラストに登場しているのは「The Factory8」のベテランスタッフ・ススムンダーです。

